

ミサガ交流 & 折り鶴プロジェクト in モザンビーク

昨年度、現3年生がJICA二本松の隊員の方々の協力のもと、**アフリカにあるモザンビーク**の子供たちと**ミサガを通じて、交流**を行いました。今年度も、現2年生が事業を引き継ぎ、ミサガを制作し、8月初旬にJICA二本松さんをとおしてモザンビーク派遣の隊員の方へミサガをお渡ししました。



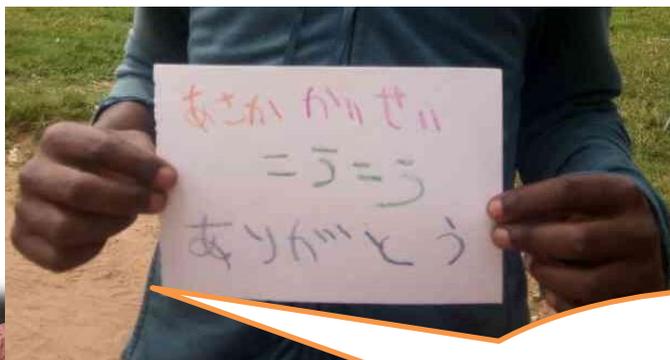
モザンビーク共和国
República de Moçambique
公用語はポルトガル語



ミサガと折り鶴をセットにして箱
につめてプレゼントしました。

その際、生徒が折った鶴を同封し、現地の子供たちに願い事を書いて送り返していただくようお願いしました。**折り鶴は「平和への願い」と「日本文化の紹介」という二つの意味を込めて、海外へ行く生徒に現地の方と折ってもらっています。**現在、中国・オーストラリア・ベラルーシから送られています。集まった折り鶴は今後**「千羽鶴」**にする予定です。

隊員の方によれば、**ミサガ**はお別れの会の時配るそうです。その時の子供たちの喜ぶ笑顔がとても待ち遠しいです！！



他にも
ポルトガル語で**P a z (平和)**や
日本語で**ヘイワ**と片仮名で書いてくれたそうです。

